

施策評価シート（平成25年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	1-3	政策名	商業の振興	政策の 目指す姿	商業機能を充実し、人とモノの 流れを活発にしています	施策 主管課	商工労政課	施策主管 課長名	菊池 郁哉
	施策No.	2	施策名	商店街の再生	施策の 目指す姿	歴史と景観が調和した魅力ある 商店街となっています	関係課名			
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 商業機能の郊外化や後継者不足により、既存商店街の販売力が低下するとともに、空き店舗が増加しています。 空き店舗増加に伴い、商店街での買い物客や多くの人が行き交う場が少なくなり、街なかにおける人と人との交流の機会が失われています。 買い物客やイベント等に訪れる市民に加え、観光客を巻き込んだ賑わい創出を目指していますが、街なかの観光スポットが不足しており、商店街へ呼び込めていない状況にあります。 								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

(1)商店街の賑わいづくり支援
○商店街のイベント支援
・商店街振興組合等が商店街の賑わいづくりのために行うイベントに係る経費の一部を補助
○商店街共同施設の整備支援
・商店街がアーケードや街路灯等の共同施設の整備や補修に係る経費の一部を補助
・商店街での買い物客への利便性を高めるため駐車場を確保
○商店街における憩いの場づくり
・「市民ふれあい広場」を設置し、商店街における買い物客や一般市民への便利施設として提供
○新規出店の促進と定着支援
・中心市街地の賑わいづくりを促進するため、未利用店舗を活用して行う事業者に対して店舗借上げ及び改装に係る経費の一部を補助
(2)歴史と景観が調和した商店街づくりの推進
○地域住民による特色を生かした商店街づくりの支援
・中心商店街の賑わいづくりを促進するとともに自主的なまちづくりを促進するため、地域住民や関係団体の取り組む事業に交付金を交付
○先人や歴史を活用した街なか誘導への取り組み支援
・買い物客や観光客のため、中心市街地における賢治さんの香りが感じられる休憩施設「賢治の広場」を開設

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
市街地における一日 当たりの歩行者数	市街地に人がどれだけ 来たかを示す指標	出典：商工会議所「通 行量・交通量調査」 ※調査全ポイント(花巻 14、大迫1、石鳥谷1、 東和2)、日曜日1日 (7:30-19:30)計測	人	目標値				9,000	9,000	9,000
				実績値	6,820	8,961	8,252			
中心市街地の新規出 店数	多様な商業形態であるこ とを示す指標 (中心市街地における新 規出店状況)	出典：商工労政課	店	目標値				5	5	5
				実績値	4	4	4			
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
	<ul style="list-style-type: none"> 「市街地における一日当たりの歩行者数」は、商店数や定住人口の減少により、低減状況が続いていたが、ここ3年は横ばいの状況にある。 「中心市街地の新規出店者数」は、新規開業者の営業継続率が高く、優良な空き物件が減少傾向にあることから、急激に増加する状況にはない。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	貢献度の判断理由
	事業内容(実績)			
1	賢治のまちづくり推進事業費	商工労政課	A	中心市街地における利便性と、先人(宮沢賢治)の童話の世界を来街者に提供した。
	賢治の広場を設置し、観光客や買い物客等が集う憩いの場を提供(来客数:17,869人)			
2-1	商店街活性化事業費	商工労政課	A	商店街への誘客と賑わいづくりに寄与した。
	商店街振興組合等が行う賑わいづくりのためのイベント事業を支援(補助件数:11件、補助金額3,054,000円)			
2-2	商店街活性化事業費	商工労政課	A	魅力的な観光都市創造と、顔づくりに向けた住民の主体的な取り組みを喚起した。
	中心商店街の賑わいづくりと自主的なまちづくり資する地域住民や関係団体を支援(交付件数4件、交付金額7,738,821円)			
3-1	商店街魅力創出事業	商工労政課	A	中心市街地における利便性を提供し、賑わい創出に寄与した。
	市民ふれあい広場を設置し、商店街における賑わいづくりを創出(設置箇所数:3カ所、来客数:11,139人)			
3-2	商店街魅力創出事業	商工労政課	A	空き店舗の利用を促進し、賑わい向上に寄与した。
	商店街の空き店舗に出店する事業者を支援(補助件数:6件、補助金額:1,57,000円※H25継続も含む)			
3-3	商店街魅力創出事業	商工労政課	A	商店街の安心・安全向上に寄与した。
	商店街が設置した共同施設(アーケード、街路灯等)の補修等を支援(補助件数:1件、補助金額:177,000円)			
3-4	商店街魅力創出事業	商工労政課	A	商店街の利便性向上に寄与した。
	商店街での買い物客の利便性向上を図るため、駐車場を確保(箇所数:3箇所)			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

(新たに取り組むべき事業はないか)

6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・少子高齢化、人口減少、大手資本による小売り競争、商業サービスの多様化に伴い、旧来の商店街は衰退傾向にある。
- ・現実を踏まえ、将来の商店街のあり方を具体的に議論しなければならない。
- ・後継者不足や、新たに参入する事業者が少ない。

(今後の方向性)

- ・中心市街地の活性化イメージを官民共通認識としながら、既存の商店街、中心市街地の枠にとらわれず、後継者の育成、新規参入の誘導を強力に進める施策を構築していく。